

学生委員会

1. 学修関係

- (1) 年度初めの新入生ガイダンス・在校生ガイダンスにおいて、本年度から本格的施行となる学生担任制度および複数担任制度について説明し、加えて学修相談のサポート体制や学生生活上の注意事項について説明した。
- (2) 本年度成績優秀者表彰制度の刷新に伴い、学部内での表彰対象者選抜のためのルール作りを行った。本年度のルールは初年度につき十分な検討時間がなく暫定的なものだが、今後安定運用のための本格的なルール作りが望まれる。
- (3) アクティブ・ラーニングや PBL 等に対応し、学生がグループ学習などで主体的に学ぶことができる環境を整備する必要性が生じたため、新しくラーニングコモンズ（共同学習室）のスペースを整備した。またそれに伴い、既存の自習室とリフレッシュルームの再配置を行った。

2. 就職関係

- (1) 大学全体の制度や近年の就職状況の変化に伴い、学部学生委員会の役割を見直す必要が出てきた。そのため、キャリアセンターの担当者、学部学務係、学生委員長との間で会合を持ち、今後の就職関係業務をキャリアセンターに一本化すること、学生委員会は連絡係になることを決め、その協力体制を整理・確認した。結果として、キャリアセンターから学部学生への広報インフラとして、学部施設内の資料置き場と新たな掲示板スペースを設置した。
- (2) ダイバーシティ推進室・水戸市共催セミナー「いま就職を考えているあなたへ わたしとキャリアとワーク・ライフ・バランス」を後援した。

3. 学生支援関係

- (1) 本年度から学生委員全員が学生生活アドバイザーとして氏名を公表することとし、学生からの生活相談に取り組む体制がスタートした。
- (2) 教務委員、学務係、学生委員長と 3 者で会合をもち、学生支援（インターンシップ、留学、iOP）と教務関係の広報・連絡のための掲示板、資料置き場等を改善・整備した。また、学生支援センターからの掲示板スペースも新たに移動・整備した。
- (3) 従来から懸念材料となっている学生支援課、バリアフリー推進室、学部の 3 者間の相互連絡について、副学長（教育統括担当）に業務を明確化するためのたたき台の作成を申し入れた。

4. 各種懇談会

- (1)「学長と学生の懇談会」(2回)開催にあたり、各学科長・メジャー主任との協力のもと参加学生を集めた。
- (2)「学部長と学生の懇談会」を主催した。内容については副学部長の報告がある。前後のアンケートと当日の話し合いを通じて、カリキュラムの問題点や学修・生活上の問題、要望やニーズについて理解を深めた。(一部は上記1のラーニングコモンズ整備に生かされた。)

5. その他

- (1) 入学式当日に開催される保護者説明会を主催した。
- (2) 学部後援会総会で就職状況について報告した。

平成 30 年度学生委員会委員長：山田桂子